

大型車のホイール・ナットの緊急点検について

一般社団法人日本自動車工業会
大型車車輪脱落事故防止分科会

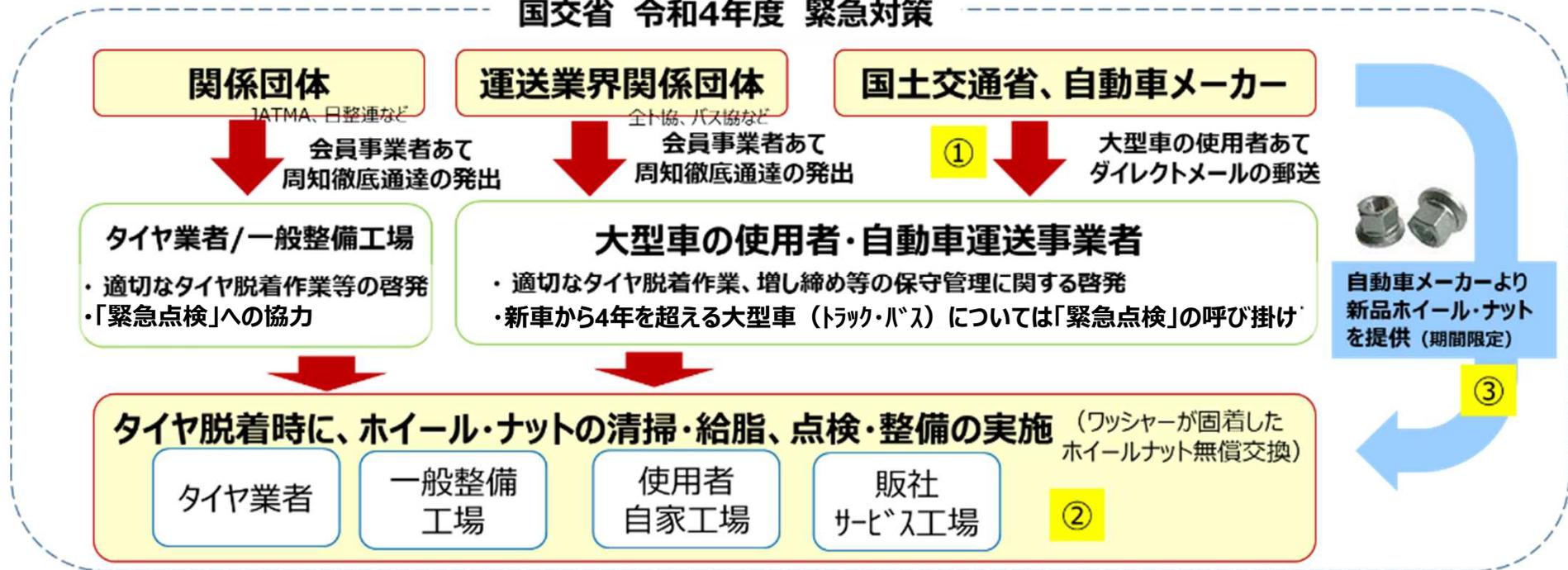
車輪脱落事故防止に向けた緊急取組み

国土交通省に設置された「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」において、タイヤ脱着時の不適切な作業実態等の問題点が確認されている。

そこで、大型車メーカー4社が足並みを揃え、タイヤ業者、一般整備工場なども含めた官民一体で、今冬の車輪脱落事故防止を狙い『緊急点検』を行う（R4.10～）。

- ・登録情報を利用した全使用者への注意喚起と適正作業の周知・徹底（国交省+大型車メーカー4社連名でDM発送）
- ・国交省「令和4年度緊急対策」通達に基づきタイヤ脱着時の重点点検・整備の実施（点検方法の情報提供、点検・整備の実施）
- ・確実な緊急点検実施への協力（ワッシャが固着したホイールナットに対し交換部品の無償提供＜大型車メーカー4社で負担＞）

国交省 令和4年度 緊急対策



大型車の全使用者へのダイレクトメールの送付

令和 4 年 10 月

大型車をご使用の皆様へ

いすゞ自動車株式会社
日野自動車株式会社
三菱ふそうトラック・バス株式会社
UDトラックス株式会社

車輪脱落事故防止のための適正な点検整備の実施方法のお知らせと ホイール・ナットの緊急点検のお願い

日頃より大型車をご使用の皆様におかれましては、適正な点検整備の実施にご協力頂き、誠にありがとうございます。

大型車の車輪脱落事故は重大事故につながりかねない大変危険なものですが、近年は毎年 100 件以上の事故が発生している状況にあります。令和 4 年 2 月に国土交通省に設置された「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」において、車輪脱落事故を起こした車両の調査を実施したところ、タイヤ脱着時の点検・清掃作業や部品交換が適切に行われていなかったため、ホイール・ボルトやナットに著しいさびやゴミ等の異物が付着しているものや、ホイール・ナットとワッシャーのすき間に潤滑剤の塗布が見られず、ホイール・ナットのワッシャーがスムーズに回転しないものが確認されております。

このような状況を受けて、大型自動車メーカー（4 社）では、日頃から大型車をご使用の皆様へ、タイヤ脱着作業時の適正なホイール・ボルトやナットの点検整備等の実施方法をお知らせいたします。

併せて、ホイール・ボルトやナットの適切な保守管理状態を確認するため、緊急点検をお願いいたします。

本緊急点検の確実な実施にご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

注意喚起と適正作業の周知・徹底

【1. タイヤ脱着作業時の適正な点検整備の実施方法のお知らせ】

本ダイレクトメールに同封されているチラシ及びご使用の大型車の取扱説明書を改めてご確認頂き、適正なタイヤ脱着作業やホイール・ボルト、ナットの点検整備の実施に、ご協力頂きますようお願いいたします。

ISO方式ホイール
大型車、車輪脱着事故防止ポイント

下記の様なナットは使わない

<座金が回らない>
ナット
座金

<座金が分離>
ナット
座金

その他の異常事例はこちら

使用するナットにオイルを塗布する

①ナットのねじ部にオイルを塗布

②ナットと座金のすき間にオイルを塗布

③ナットを回し座金のすき間にオイルをなじませる

トルクレンチを使って、規定トルクで締め付ける

トルクレンチ 規定トルク
・550~600N・m

ナットの増し締め

タイヤ取付け後は50km~100km走行後を目安に増し締めしてください

日常点検でナットを確認

緩み、脱着を
・目で見る
・点検ハンマーを使う

インジケータを使用すると緩みを検出しやすくなります

詳細については、裏面及び取扱説明書をご確認ください。

一般社団法人 日本自動車工業会
いすゞ自動車(株) / 日野自動車(株) / 三菱ふそうトラック・バス(株) / UDトラック(株)

ISO方式ホイール取付け時のポイント

1 部品の点検と清掃

部品を点検し、以下のものは交換

- ・ナット：座金が回着、分離、ねじ山の損傷
- ・ボルト：折れ、ねじ、著しい錆、ねじ山の損傷

※1 折損している場合は、その車種すべてのボルト、ナットを交換

部品取付け面、ネジ部を清掃する

ディスクホイール、ハブ、ボルト、ナットの錆やゴミ、塗膜などを取り除く。

2 ナット、ボルトへのオイル塗布

ナットとボルトにエンジンオイルを塗布

- ・ナット：はめこみ部、座金とナットのすき間
- ・ボルト：ねじ部

ナットを数回まわし、ナットと座金のすき間にオイルをなじませる。

3 ホイールの取付け

- ・ハブのはめ合い部にグリースを薄く塗布してください。
- ・ホイール取付けの際はボルトのねじ部を傷つけないよう注意し、ホイールをハブの奥まで押し込んでください。

4 ナットの締付け

ナットを手で回しホイールに当接する事を確認し、かじった場合、ボルトとナットを交換してください。

仮締め後トルクレンチを使用して規定のトルクで締付けてください。

規定トルク：550~600N・m

5 ナットの増し締め

タイヤ取付け後50~100km走行後を目安に、再度規定トルクで増し締めしてください。

日常点検で確認すること

①目で見て確認

- ・ナットが浮いていないか？
- ・ナット、ボルトは付いているか？
- ・ホイールに亀裂がないか？

②点検ハンマーで確認

- ・ナットに指をそえて叩く
- ⇒振動・音が他と違うと緩みの恐れ

一般社団法人 日本自動車工業会
いすゞ自動車(株) / 日野自動車(株) / 三菱ふそうトラック・バス(株) / UDトラック(株)

緊急点検のお願い

【2. ホイール・ナットの緊急点検のお願い】

過去に発生した車輪脱落事故では、初度登録年から4年以上経過した大型車において、冬用タイヤへの履き替え等のタイヤ脱着作業後に車輪脱落事故が発生するケースが多いことが判明しています。

このような状況を受けて、初度登録年から4年を経過した大型車を対象に、ホイール・ボルト、ナットの適切な保守管理状態を確認するための緊急点検をお願いいたします。

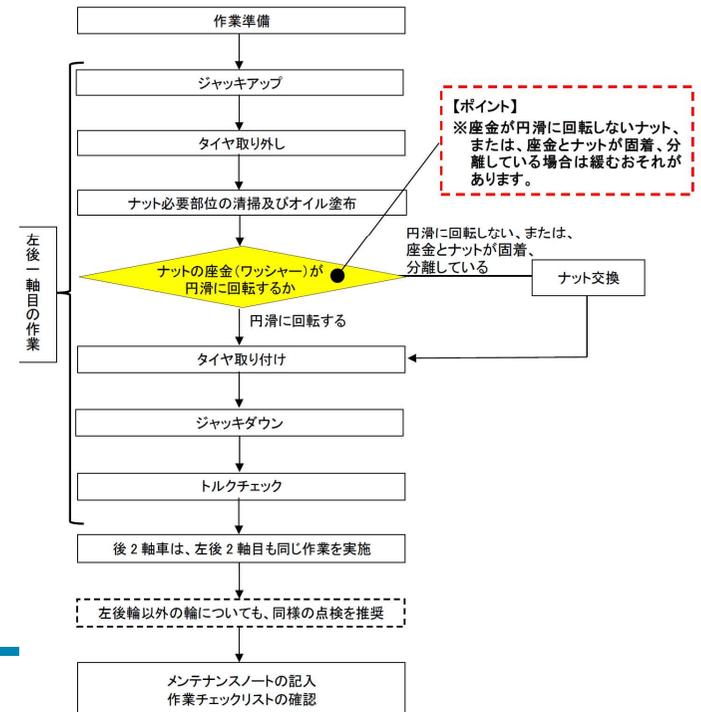
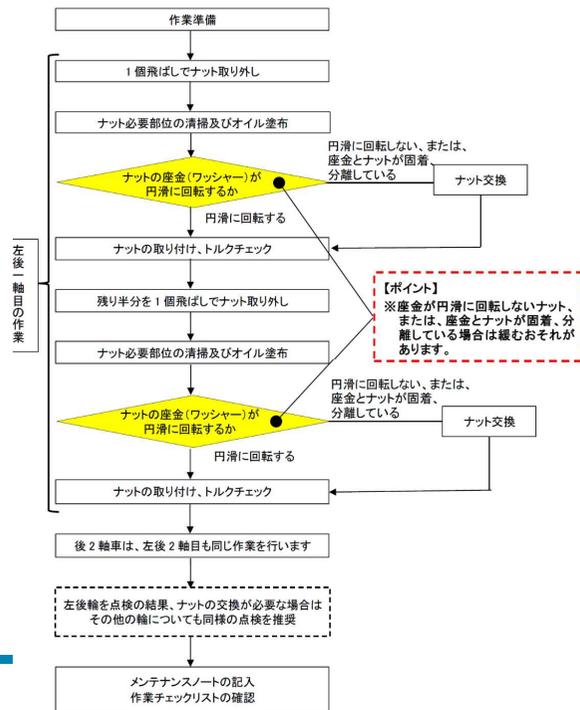
- 本緊急点検の対象車：ISO方式ホイール・ナットを採用した大型トラック、バスのうち、初度登録年月日が平成30(2018)年9月30日以前の大型車(初度登録年から4年超)
- 本緊急点検の実施期間：令和4(2022)年10月1日～令和5(2023)年2月28日

緊急点検の作業内容

本緊急点検は使用者ご本人様が実施頂くことも可能ですが、日頃よりタイヤ交換作業をタイヤショップや自動車整備工場、大型自動車メーカー系列店舗等に依頼されている場合は、本ダイレクトメールの同封書類をご確認いただき、タイヤ交換作業等と併せて本緊急点検の実施をご依頼ください。

■ 緊急点検のみ実施する場合（タイヤ脱着せず）

■ タイヤ交換作業等と合わせて緊急点検を実施する場合

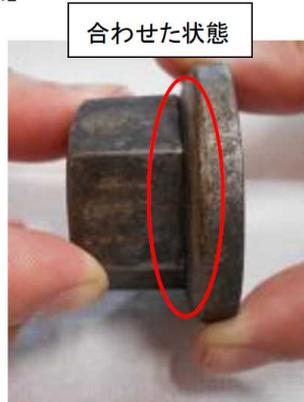


ホイールナットの点検

3-4 ホイール・ナットの点検



【点検方法】



【点検 NG 例】

・ホイール・ナットと座金(ワッシャー)とのすき間に潤滑剤を塗布した状態でホイール・ナットの座金(ワッシャー)が円滑に回転するか点検します。

☑チェック済

※座金(ワッシャー)が円滑に回転しない場合は交換します。

座金(ワッシャー)



スムーズに回転

・座金(ワッシャー)とナットを合わせた状態で回転させて円滑に回転するか。

【注意】

ホイール・ナットを清掃し、ワッシャーとナットの隙間に潤滑剤を塗布し、よくなじませてから点検を行います。清掃、潤滑剤の塗布を行わないと、正しい点検結果が得られません。

【点検 NG 例】

円滑に回転しない



座金とナットの固着



座金とナットが分離



ホイールナットの無償提供について

本緊急点検を実施した結果、劣化したホイール・ナットが見つかった場合は、必ず交換が必要です。

そのような場合は、アンケートにご協力頂ければ、交換した分の**純正ホイール・ナットを無償提供いたします。**

※本緊急点検において**無償提供させて頂く純正ホイール・ナットの個数は、最大で該当する大型車の左側後輪分**とさせていただきます。

※本緊急点検の実施をタイヤショップや自動車整備工場、大型自動車メーカー系列店舗等へ依頼される場合、**本緊急点検の作業工賃は、有料** となります。あらかじめご承知おきください。

【アンケートへ御協力をお願い】

- ①本アンケートは、平成 30(2018)年 9 月 30 日以前に登録された大型車（初度登録された 4 年超）を対象といたします。
- ②本アンケートは、「大型車のホイール・ナットの緊急点検」で、劣化したホイール・ナットを交換されるお客様を対象といたします。
ダイレクトメール同封の作業実施要領書に、劣化したホイール・ナットの交換目安を記載しておりますので、ご確認願います。
- ③本アンケートは、右下の QR コード(又は URL)からアンケートページを読み取り、スマートフォン等でご回答を選ぶ簡単な内容となっております。
*ご回答に必要な時間は最大で 10 分程度です。

【ホイール・ナットの無償提供について】

- ①無償提供させて頂く純正ホイール・ナットの数量は、最大で該当する大型車の左側後輪分といたします。
- ②無償提供させて頂く純正ホイール・ナットは、劣化したホイール・ナット現品との交換といたします。
- ③申請書に必要事項を記載いただき、整備工場/タイヤショップ又はメーカー販売会社整備工場に提出いただく必要があります。

*ただし、交換作業手順のご都合等で、劣化したホイール・ナット現品との交換が困難な場合は、劣化したホイール・ナットを交換される前に、劣化したホイール・ナットが取り付けられている車輪の状態をスマートフォン等で撮影していただき、各社販売店が確認したうえで、事前に純正ホイール・ナットを無償提供することも可能です。

*なお、**本緊急点検の作業工賃は、有料** となりますことを、あらかじめ御承知おき願います。

ホイールナット無償提供の流れ

1. 使用者様をご自身(自社整備工場等含む)で緊急点検を実施される場合



2. 自動車整備工場並びにタイヤショップへ緊急点検を依頼される場合



